

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第9号 平成25年5月19日

打線も梅雨に入ったか???

投手の美学は制球である!!

	1	2	3	4	5	6	7	R
T	2	1	2	1	0	1	0	7
G	0	0	0	1	0	0	0	1



5/19(日) Victoria今期2戦目となるT-boys戦を日大明誠高校に出向き戦った。道中の渋滞も、天候の心配も無く、今日のプレイボールを迎えた。そのマウンドに上がったのは達脇、その初球に注目が集まった。入りはボールから、しかしそのボールは3球続き、ストレートの四球かと思ったが、4球目はストライク、しかし、結果次の投球はボールで先頭を四球で出塁を許す。次打者にも三球連続でボールで二者連続で四球かと思った矢先はストライク、しかし、ストライクを取りにいった次の投球をきっちり送りバントを決められる。が、これが、内野安打となり、無死一・二塁、しかし次打者は二飛に捕り一死としたが、四番にセンターオーバーの三塁打を決められ二点を先制されてしまった。続く打者には空三振、そして次打者は投ゴロに斬り失点は二点に抑えた。その裏の攻撃で我がチームにも得点かと思われるシーンが出る。先頭の哲也が四球を選択し出塁、その後二盗を決める。二番は三振に倒れたが、昨日アクシデントに見舞われた光希が綺麗に右前に運び、一死一・三塁、そして得点が期待出来る場面に四番が打席に入ったが、初球を叩いたが、野手正面、三塁哲也がホームを目指したが、残念ながらアウト、後続も凡打に倒れ、得点シーンは泡と消えた。二回にも先頭二人を四球で出塁を許す。続く打者を一邪飛に斬ったが、一番打者にエンドランを決められ、失点、三回には、安打と四球とDSで一死二・三塁とされたところで、きっちりセンター前に運ばれ、二点を追加され、序盤で5点を背負う展開となってしまった。また、四回には、安打と2つの四死球としたところで、四球による押し出しで1点追加された。この裏、二死後祐太郎が内野安打で出塁、次打者緑川が今日二個目の四球を選択し、二死一・二塁とした。ここで、打席には深沢が入り4球目を変化球で泳がされ打った打球は、ショートへの詰まった打球、これをショートが一塁に悪送球、この間に1点を返したが、6回には、失策とDSで一死二・三塁とされたところで、ここでもまたきっちり左前に運ばれ七点目を与え、今日のゲームは万事休すとなってしまった。今日のゲームを振り返ってみると、昨日の試合で出来た事が全く出来なかった事が一番の敗因であろう。四回まで毎回先頭打者を出塁させる。相手投手の四球が完投で3だったのに対し、我がチームは6回までで7個、これでは数字的には劣せず1点を与えている事になる。やはり四死球は何もせずに出塁を許す事になるので、速さよりコントロールを重視し、出塁させない事が大事である。打たれた結果が安打か凡打なので、いかに四死球が無駄であるかは理解出来ると思う。打撃はミスモノ、ましてや、今日の投手は要所でコーナーを突く投球なので、安打を打つのが難しい状況、ならば、やはり投手がきっちり打たせてゲームを作りたい。もし、この四死球が無かったら、と仮定してスコアを書くと、失点は1、初回の攻撃も然ることながら、非常に惜しい内容であった。いよいよ次節は区民の初戦、今日出来なかった事を自身が肝に銘じ、初戦突破をチーム一丸で目指したいものである。